

みんなの議会

新型コロナワクチン 3回目接種へ (02)

10人が問う 一般質問 (04) 議会の仕組み・解説 (15)

令和3年
12月
定例会

長崎県長与町議会



photo title : 段々畑(本川内郷)

3回目接種へ

補正予算（8・9・10号）

全会一致
承認（8号）
可決（9・10号）

令和3年第4回定例会を12月7日から16日まで開催しました。一般会計補正予算をはじめ、国保条例改正や工事請負契約の締結など、7議案を慎重に審査し全会一致で承認・可決しました。

一般会計予算に14億7798万円を追加補正し、一般会計総額を161億4444万円としました。

新型コロナウイルス3回目接種

5965万円

主な質疑

Q 1回目、2回目の接種の際にトラブルはなかったか。

A 特に大きなトラブルはなかった。令和3年12月から医療従事者の3回目接種が始まっており、住民接種は4年2月からの予定で準備をしている。

企業版ふるさと納税

200万円

主な質疑

Q 企業版ふるさと納税寄附金とは何か。また、本町ではどのように活用するのか。

A 地方公共団体に対し、企業の寄附を募るもので、寄附を行った企業は法人関係税から税額の控除を受ける。今回、子育て支援への寄附があり、高田保育所の遊具購入やベビー用品貸出事業の拡充などに活用予定である。

マイナンバーカードと連携

303万円

主な質疑

Q 健康管理システムがマイナンバーカードと連携することだが、どのようになるのか。

A 令和4年6月から健康管理システムに、がん検診や特定健診などの結果が全て連携することになる。住民が転入・転出した後も以前の健診と比較ができるよう、マイナンバーと連携する。

ふるさと長与応援寄附金

7000万円

主な質疑

Q ふるさと長与応援寄附金は昨年度と同じくらいになるのか。

A 令和2年度が9800万円ほどだったので、4割ほど増えると予想される。

Q 増えた要因は。

A 返礼品が増えたことや、定期便、商品の組み合わせ、農産物の追加もあり寄附の増加に繋がっていると思う。

長与第二中学校校舎屋上防水工事

4983万円

主な質疑

Q 長与第二中学校校舎には雨漏りで使えない教室があると聞いているが、現状はどうなっているのか。

A 教室を変えて授業を行っている。

Q 工期は180日間との事だが、いつの時期になるのか。

A 令和4年2月の初めから7月の終わりまでを予定している。



長与第二中学校

新型コロナワクチン

令和3年度一般会計

子育て世帯臨時特別給付金

7億2227万円

子育て世帯の生活を支援するため、18歳以下の児童を養育する世帯に臨時特別給付金を支給します。

先行分の5万円（補正8号）と追加分の5万円（補正10号）とを合わせて10万円が現金で一括支給されます。

主な質疑

Q 専決処分になった理由は。

A 年内での実施が求められており、少しでも早い対応が必要だったためである。

（詳細は広報ながよ1月号をご覧ください。）

住民税非課税世帯へ臨時特別給付金

4億5025万円

主な質疑

Q 給付金と対象者の世帯数はどれくらいか。

A 1世帯10万円給付。対象は4400世帯を見込んでいる。

（詳細は広報ながよ2月号に掲載予定です。）

全会一致
可決

歩行者のための定林橋側道橋

5598万円

定林橋側道橋上部工

工事請負契約の締結について

歩道がない定林橋を歩行者が安全に通行できるように歩行者専用側道橋を新設するための工事請負契約議案が出され、原案どおり可決しました。

主な質疑

Q 現在、定林橋町道側の横断歩道が移設されているが、また以前の位置に戻るのか。

A 工事のために一時的に移設をしたものなので、工事完了後に以前の位置に戻す。



定林橋の下流側に側道橋が架かります

令和3年第4回定例会の議案および議決結果

議案番号	議 案	審議結果
第66号	令和3年度長与町一般会計補正予算（第8号）の専決処分の承認を求めることについて	承認（全会一致）
第67号	長与町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第68号	令和3年度長与町一般会計補正予算（第9号）	可決（全会一致）
第69号	令和3年度長与町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第70号	令和3年度長与町下水道事業会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第71号	定林橋側道橋上部工工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
第72号	令和3年度長与町一般会計補正予算（第10号）	可決（全会一致）

10人が問う

一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

一般質問の記事

質問した議員が実際のやりとりの範囲内で執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内に要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

会議録の閲覧

会議録は、長与図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町議会ホームページで閲覧できます。

会議の中継・配信

本会議の様子を、YouTubeでライブ配信・録画配信しています。ご自宅のパソコンやタブレットなどからもご覧になれます。

掲載ページ [一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。ぜひご覧ください。](#)

5	竹中 悟	議員	① 次世代へ向けた町づくりについて ② 新図書館及び複合施設の建設計画について
6	内村 博法	議員	① 本町の発注管理体制について ② 行政改革について
7	八木 亮三	議員	① 人権を守るためのパートナーシップ制度の必要性について ② 長与・時津シルバー人材センターへの補助金について
8	浦川 圭一	議員	① 給食費の公会計化への移行について ② 小型家電のリサイクル促進について ③ 東高田橋周辺の交差点改良について
9	金子 恵	議員	① 高齢者福祉について ② ごみ行政について ③ 市街地でのイノシシ対策について
10	堤 理志	議員	① 本町の歴史遺構・文化財について
11	西岡 克之	議員	① 人口問題について
12	松林 敏	議員	① 本町の渋滞対策について ② ランドセル症候群について
13	河野 龍二	議員	① 高田南土地区画整理事業について ② 地区コミュニティ組織について
14	安部 都	議員	① 新図書館建設計画及び児童・生徒の図書の時間と新読書法の導入について



図書館 明確な方針を示せ



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

回答 健康センター合築 来年準備室設置



老朽化した図書館と健康センターを合築

■議員 3月議会でも質問したが、新図書館および複合施設の建設については令和4年から8年建設完了に向け検討していくとのことだったが、現況はどうか。

■町長 コロナ禍により緊急の財政処置や税収への影響など財政状況が厳しくなることも注視しつつ、8年度建設完了を目標に段階的に準備をしていく。

■議員 図書館のみの建設なのか複合施設にするのか、さらに民間施設との複合化お

よび連携はどのような内容になるのか。明確な方針を示す時期と考えるがどうか。

■町長 健康センターとの合築が望ましいと判断している。飲食を含む交流機能の併設の可能性も検討していく。

■議員 施設建設には町民の声を反映させることも必要と考えるが、合意内容はどうか。

■町長 図書館についてはすでに検討委員会を組織しており各専門分野から多様な意見を集約している。

■議員 複合施設となると財政の負担増が想定される。財政の見通しについて、財政の見通しをした中で今後のスケジュールを尋ねる。

■町長 建設にあたり基金・起債を活用し財政に大きな影響が出ないよう整備計画を検討していきたい。4年度準備室設置、5年度基本設計着手、6年度実施設計策定を踏まえて工と想定している。

■議員 施設の管理運営に指定管理者制度などを採用する自治体もあるが、どう考えているか。

■町長 民間のノウハウもあるが現時点では考えていない。

問 新たな未来像のビジョンはあるか

答 総合計画や総合戦略で取り組む

■議員 町の将来像には、第10次総合計画において今後10年間の基本構想・基本計画により将来像や各分野の推進施策が策定されている。まち

づくりには長与町都市計画マスタープランとの整合性を持った構想が必要と思われるが、新たな未来像についてビジョンはあるか。

■町長 第10次総合計画に第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略も取り込み、新たなまちづくりに取り組んでいく。

■議員 30年50年後の次世代のまちづくりに向けた構想の取組について尋ねる。

■町長 2060年の本町人口は2万8千人と見込まれているが、できる限り人口減少に歯止めをかけ、戦略的に縮みつつも豊かな町をつくりていきたい。

■議員 再任用職員の経験と若手職員を生かした地域活性化を先導するセクション設置の考えはないか。

■町長 課の設置は考えていないが、地域活性化の実現を目指し部局間の横断的なメンバーでプロジェクトを構成し、未来について語り合う場を作ること検討している。



官製談合防止の発注管理体制は

【回答】 談合情報対応マニュアルで管理



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



官製談合防止法違反行為の事例です
(公正取引委員会ホームページより)

■議員 公務員が関与する官製談合防止法違反などの不祥事が他自治体において頻発している。県内では波佐見町で平成29年12月と令和2年9月に2度の官製談合防止法違反事件が発生し、職員の逮捕者が出ている。このような不祥事を防止するためには発注管理体制の強化が必要と考える。官製談合を防止するための発注管理体制はどのように

なっているか。

■町長 平成17年に談合情報対応マニュアルを策定し、全職員がいつでも確認できるように、職員向けポータルサイトに常設掲載し、談合防止意識の高揚と醸成を図ってきた。発注管理体制は、設計額を知りうる職員は設計者および決裁者、入札担当者に限る。設計者はパソコンの積算画面をそのままにして離席をしな

い。起工の決裁は基本的に持ち回り、机上に放置しない。など、担当者以外の職員や第三者の目に触れないように対策を講じている。談合は犯罪という意識を職員が強く持ち職務に臨むよう、また、談合を疑われるような軽率な言動を厳に慎むよう、今後もコンプライアンス研修や周知文書などにより職員への指導を徹底していく。

問 地球温暖化防止活動の推進施策は

答 令和4年度共同策定に向け準備中

■議員 地球温暖化防止活動の推進についての具体的な施策はどのように考えているか。

■町長 温室効果ガスの削減を含めた各種地球温暖化対策は、環境担当部署のみならず、全庁的に各部署においてできることを取り組むことが重要であると考えている。同時に町としては、先般「ゼロカーボンシティ長与」宣言を

行い、長崎市、時津町との1市2町による地球温暖化対策実行計画の令和4年度共同策定に向け準備を進めている。この計画においては、住民、事業者、民間団体などの全ての人々が参画し、活動できるよう策定を行い、各施策が実効性の高くなるものとなるよう努めると共に、それぞれの立場で、節電、ごみの減量化など今すぐ取り組める施策を進めていきたいと考えている。

■議員 今後の社会保障費や図書館建設などの公共施設の更新費用などの増大により、財政状況の悪化が非常に懸念される。今後、徹底した財政状況の改善が必要と思うがどのように考えているか。

■町長 財政状況については、今後数年間厳しい状況が続くと見込まれているが、財政の健全性を示す比率は基準値内を保つ見通しとなっている。引き続き、事務の効率化を検証しながら経費の節減に努めたい。



パートナーシップ制度の導入を

回答 現時点では前向きにはと言えない



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



パートナーシップ認証の喜びを報告する
導入済み自治体のカップル

■議員 一昨年、昨年と一般質問でパートナーシップ制度導入を求めてきたが、本町は制度の意義と必要性を理解しない答弁を繰り返してきた。同制度を導入済みまたは導入予定の自治体がこの2年間で78から209に増えるなど社会が変化していく中、頑なに導入しないのは行政による性的マイノリティ差別ではないか。

■町長 差別であるとは考えていない。

■議員 パートナーシップ

制度を導入するならよりよい制度にしたい、と言うが、そもそも導入するつもりがあるのかないのかどちらなのか。

■総務課長 今のところ町には性的マイノリティ当事者からの相談がない。相談があつてからのスタートだと考える。

■議員 差別や人権侵害を受けても声を上げられない人が大勢いることは本町の総合計画でも言及されており、把握しているはずである。当事者のために、いつまでには

言えなくとも導入する方向かそうでないのかは明確にできないか。

■総務部長 前向きにはと言えないが、当事者支援団体と協議を重ねていく。

問 シルバー人材
2町協定の見直しを

答 指摘を受け時津町と協議をしたい

■議員 長与・時津シルバー人材センターへの補助金は本町と時津町で案分する協定があるのに、今年度のセンター事務局長に本町の退職者が就いたことで発生した給与増額分を本町が全額負担しているのはおかしいのではないか。

■町長 協定の「疑義が生じた事項は2町で協議し決定する」という定めにより協議した結果である。

■議員 そもそも時津町から疑義が出るような人事に問題があるのではないか。協定通りの案分になるような協議をすべきだったのではないか。

■産業振興課長 センターから緊急に適任者の推薦を求められてのことだったためにこのような形で解決となった。指摘を受け、来年度以降は適正な案分になるよう時津町と協議をしている。

■議員 センター事務局長は2町の町長で協議し決定すると協定書にあるが、民間の組織の特定の役職を町長が決めるという協定は、職員の再就職のあつせんは制限するの

が適切とする改正地方公務員法の趣旨に反するのではないか。

■課長 今回の指摘を受け、協定の内容について時津町と協議したい。

■議員 外郭団体や町が補助している団体への職員の再就職は条例で明確に禁止すべきだと思うがどうか。

■町長 一般公募だと応募がない中で、町の退職者に適任の人材がいる場合などもある。公益法人の職務や性格を理解してもらいたい。



公会計のメリットとデメリットは



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 教員の負担軽減と新たな財政負担

- 議員 給食費を公会計で運用することのメリット・デメリットは何か。
- 教育長 メリットは教職員の負担軽減と給食費管理の透明性担保、安定した予算執行があげられる。デメリットはシステム構築や利用に係る町の財政負担増、教育委員会職員の業務量増加が考えられる。
- 議員 公会計移行に係る新たな財政負担はどうなるのか。
- 教育長 令和4年度にシステム構築で約230万円、5年度以降のシステム利用料として年間120万円程度を見込んでいる。
- 議員 給食費徴収に係る教員の業務負担の現状は。
- 教育委員会理事 教員が年間110時間、図書校務員が480時間ほど従事している。
- 議員 現行の私会計による給食費徴収で何か問題があるのか。
- 理事 特に問題というものは無い。

- | | |
|---|----------------|
| 問 | 小型家電のリサイクル促進は |
| 答 | 民間事業者と協定締結の協議中 |
- 議員 小型家電のリサイクルを促進する目的で、長崎市が小型家電に含まれるレアメタルなどの再資源化に取り組み民間事業者と協定を結んだとの報道があったが、本町においても同様の取組がでないか。
 - 町長 小型家電については、現在、役場1階玄関ホールに小型電子機器専用回収ボックスを設置し回収している。パソコンの処分についても、長崎市と同じ民間事業者と早期の協定締結に向け協議を進めている。
 - 議員 協定が結ばれることによって、不要物として処分する住民は処分がしやすくなるのか。
 - 住民環境課長 処分しやすくなると考えている。



信号機・横断歩道が必要ではないか！
(東高田橋交差点周辺)

- | | |
|---|-----------------|
| 問 | 東高田橋周辺の交差点改良は |
| 答 | 交通量や地元の意向を踏まえ協議 |
- 議員 高田川の改修事業と併せて整備が計画されている町道東高田天満宮線の完成を見越して、現状の横断歩道や信号機などの交通安全施設を橋と県道が接続する交差点部分に移設する東高田橋周辺の交差点改良が、交通安全上必要と考えるがどうか。
 - 町長 東高田天満宮線の供用開始後に県道への交差点に出入りする車両が多くなることも考えられるが、供用開始前には増加台数の想定が困難であるため、警察や県などの関係機関との事前協議は難しいと考えている。今後、交通量の状況や地元の意向を踏まえながら関係機関と協議していく。
 - 議員 東高田橋と信号機の設置はどちらが早く整備されたのか。
 - 土木管理課長 把握していない。



かねこ 恵 議員

地域共生社会実現強化に取り組め



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 地域支え合い支援員を中心に推進



サロン参加で健康づくり そしてつながる！

■議員 地域共生社会の実現に向け健康づくりの取組強化による健康寿命の延伸が求められている。強化が必要ではないか。

■町長 高齢者の日常生活における地域での支え合い体制づくりを目指す生活支援体制整備事業について、地域の支え合い支援員である生活支援コーディネーターを中心に事業の推進に努めている。

■議員 川棚町では地元スポーツクラブと連携し、サロンの運動や買い物支援を実施している。本町のスポーツクラブはバスを所有していることから、連携し協力してもらうことが可能かと思うがどうか。

■介護保険課長 スポーツクラブとの連携はサロン活動のメニューが広がるような内容であると思う。今後検討していく。

全天候型施設設置

■議員 体力的にも元気でサロンに参加するにはまだ早いと感じる高齢者の居場所づくりに貢献するため、全天候型施設の設置が多方面で有効と考える。その後の検討はどうなったのか。

■生涯学習課長 高齢者からは、雨の日でも集える場所、暑い日でも健康づくりができる場所があればいいという声は聞いている。徴収している使用料などの財源を活用して整備することを引き続き検討したい。

問 どのような紙類以外の回収方法

答 処理処分方法
処理体制を協議中

■議員 紙類のステーション回収が決まったが、その他については今後どのように進

めていくのか。

■町長 回収方法だけではなく処理処分方法、処理体制を含め協議している状況である。

問 市街地のイノシシ出没情報共有を

答 組織づくり
情報共有で対応する

■議員 自治会などからイノシシ出没に関して連絡、相談があったと思うが、長与小学校グラウンド側にイノシシが来て荒らしていることの情報共有ができていなかったことに違和感がある。横の連携はどうなっているのか。

■建設産業部長 現在、イノシシへの対策は農業被害の観点から産業振興課が担っているが、市街地に出没した場合



児童館や民家裏のイノシシ出没跡

は連携しながら、人的被害が出ないように対策をしていく。

町なかに生息か

■議員 町内各所でイノシシが目撃されている。町全体、町なかにも生息していると考えられる。イノシシは自然災害と違い情報伝達に始まり対応方法はあるのではないかと。他市では行政、消防団、警察、猟友会が連携し対応している。本町でも組織づくりが必要と思うがどうか。

■部長 情報の共有、収集が重要なことは認識している。公共施設などにおいて目撃情報があった場合は警察や関係機関と連携をしながら、住民に被害が出ないように今後対応していく。



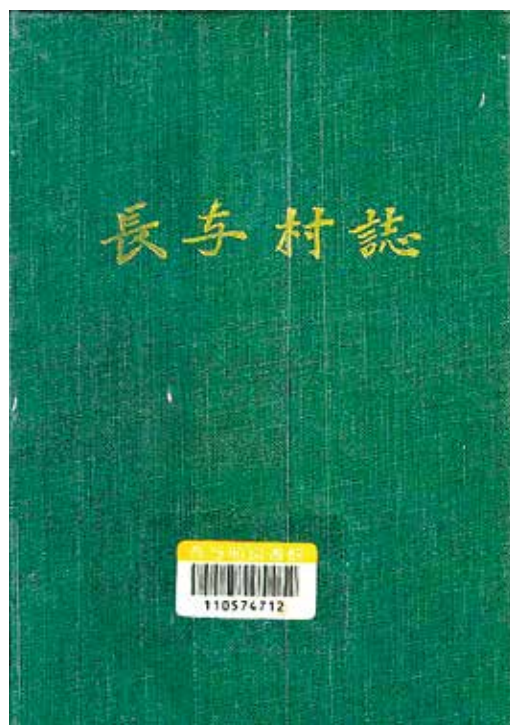
町の歴史や文化を伝え残す努力を



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 さまざまな機会に周知する

- **議員** 本町の遺跡マップが町ホームページに公開されているが、一般的でない名称が多数あるなど、改善の余地がある。さらに充実したものにできないか。
- **教育長** 町民からも指摘、意見を受けている部分もあるので、改善していきたい。
- **議員** 長与三彩窯跡関連遺構の調査計画は現在どうなっているのか。
- **教育長** 令和3年度調査は予定の約半分を終えた。引き続き調査を続けていきたい。
- **議員** 遺構の発掘は、専門的、学術的な知見が必要と考えるがこの点はどうのように対応しているのか。
- **教育長** 町の学芸員に加え、文化財調査専門員および発掘調査指導員を雇い入れ、発掘調査を行っている。
- **議員** 本町の歴史、文化については、大村藩の中でも長与村はキリシタンがずばぬけて多かったことや、治水に伴う人柱の伝承が2力所あること。また、本川内駅建設の地元要望を受け、3日以内に地元で建設資材を準備できればという厳しい条件を付された際、それを地元住民が成し遂げたなどの逸話がある。町は生涯学習の観点から、これらを町民に伝え残す努力が必要ではないか。
- **生涯学習課長** さまざまな機会に周知を図っていききたい。
- **議員** ながよふさと「かるた」に、スパイラルスライダーや平木場の湯など、現在では状況が変わったものが掲載されている。見直しが必要ではないか。
- **課長** 情報が古いものがあると思うので、タイムリーな情報を発信できるよう努力していく。
- **議員** ながよ電子図書館に誰でも閲覧できる郷土史資料が掲載されているが、これらは画像データなのでネット検索にかからない。そこで、文字列検索が可能なPDFに変更するなどの改善ができないか。



いか。

■ **課長** 住民が検索しやすいよう努力していきたい。

■ **議員** 長与町郷土誌の記載内容に追記、修正すべき箇所があるとの提言が、町郷土誌友の会の会報に記載されて

いる。それらを精査し、盛り込んだ新たな町郷土誌を作ってはどうか。

■ **課長** 一定の時期に改訂をするので、その時に修正していきたい。

長与村誌はインターネットで誰でも閲覧できます
ながよ電子図書館で検索→ジャンルで探す→長与町関連（ログイン不要）



にしおか かつゆき
西岡 克之 議員

人口増加政策はどうする

回答 宅地造成や移住政策に取り組む



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■議員 近年本町の人口は減少が続いている。日本全体も2008年から減少を続けており、これに伴う少子高齢化や労働力減少は、企業や自治体にとっても無視できない問題である。また、首都圏などへの人口集中により生じる若手人材の不足や空き家の増加などのさまざまな問題については、本町においても看過できるものではない。既存のビジネスやコミュニティを維持していくためにも、これらの自治体運営に多大な影響を及ぼす人口対策をどのように考えるか尋ねる。

■町長 現在町内で進められている新規宅地造成は、高田南土地区画整理事業と椿林土地区画整理事業の2カ所がある。高田南では計画戸数が1300戸、隣の椿林は71戸の予定である。これらが定住人口の受け皿となる。

■都市計画課長 高田南の1300戸のうち700戸が現在一括施工区域内で整備中だが、換地後に集合住宅の建

設などを計画している地権者もいる。そのほか土地の面積の大小などで整備後の宅地数は550前後になる予定である。

■議員 主に遠方からの移住についてはどうか。

■町長 移住に関するワンストップ窓口を設置し、対面や電話、メールで子育て環境や長与での暮らし、移住政策など細やかに対応しているほか、移住サポートセンターと連携して福岡での相談会やオンラインでの相談にも対応している。併せてパンフレット、動画、町ホームページ内に移住特設ページなどを作成している。

■議員 東京からの移住者には制度が充実しているようだが、他からの移住に対してはどうか。

■政策企画課長 東京からの移住者に対する制度は、首都一極集中を是正するための国の制度である。本町は首都圏以外からの移住者への移住一時金の制度を創設してい



人口増加になるか 進む高田南土地区画整理事業

る。これらの取組で近年移住実績が増えている。

■議員 移住者は増えていますが、移住するには仕事も大事である。どのような取組をしているか。

■町長 移住者の関心が高い項目は、就職、住まい、暮

らしとなっており重要な判断基準である。本町でも長崎市、時津町との連携中枢都市圏を通じて就職希望者とのマッチングの取組をしている。加えて県立大学との共同研究などで産業振興にも取り組んでいる。



本町の渋滞対策は

回答 他自治体や県と協議していく



この QR コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■議員 本町の渋滞は、県内でもトップクラスと感じる。道ノ尾停車場線では高田越交差点がボトルネックになっており、道ノ尾駅入口交差点では青信号でさばける台数が少なく、そのボトルネックで蓋をされているように感じる。信号のタイミングの調整による渋滞解消の協議の現況はどうか。

■町長 すでに対策は行っただが渋滞緩和に至っていない。

■議員 信号の時間を長くするなどのさらなる調整は望めないか。

■土木管理課長 本町だけでは決められない。協議の中で問題提起をしながら解決に進むよう努力する。

■議員 あと数年で高田南土地区画整理事業が終わり、高田中央線の交通量の増加が予想されることから、決して今のままではいけないと感じる。県交通渋滞対策協議会は、国土交通省九州整備局長崎河川国道事務所長が会長になっ

て、県内の主要渋滞箇所の対策を行っている。道ノ尾停車場線をこの主要渋滞箇所に追加してもらうことが必要と考えるがどうか。

■課長 追加してもらえよう協議を進めていく。

時津との連絡道路

■議員 三彩橋交差点もボトルネックとなっており、ボトルの口を増やすことが渋滞解消につながると考える。また、この交差点が事故や災害で通行止めになった場合を考えると道路網が脆弱な状態と感じる。本町と時津町をつなぐ新たな道路の整備はどうか。

■町長 時津町とは定期的に協議を行っている。今後にも前向きに協議を行っていく。

問 ランドセル軽量化の取組は

答 家庭学習に必要な物のみ持ち帰る

■議員 本町のランドセル軽量化の取組はどうか。

■教育長 家庭学習の必要がある教科や宿題などに必要な物の持ち帰るようし、携行品の重さや量が児童の負担にならないように配慮している。

■議員 小学生での成長はとても大きなものであり、そ

の体はとても繊細なものと考ええる。タブレットを利用することで教科書を学校に置いたままにできないか。

■教育委員会理事 デジタル教科書が令和6年度から導入されるので、現在検討中である。



うんざりする高田の渋滞 その原因は？
(一般質問で議員が提示した自作資料)



高田南の事業計画変更の内容は

回答 変更内容は現在精査中



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。



総事業費が112億円から316億円に膨れ上がった高田南土地区画整理事業

■議員 高田南土地区画整理事業の完成予定の、令和6年度末までの各年度の事業計画はどうなっているのか。

■町長 事業計画書の資金計画では、3年度末15億1000万円。4年度末10億2000万円。5年度末8億3000万円。6年度末4億8000万円。事業開始からの合計で316億3600万円となる。

■議員 道路築造や宅地造

成の事業計画は。

■都市計画課長 資金計画は出ているが、各施工量は出していない。

■議員 決算審査で事業計画の変更があると思うとの答弁だったが、変更理由の内容はどのようなものか。

■町長 現在、精査および検討中で、時期や内容は現時点では具体的に示せない。工事費の精算を進めていく中で総事業費が増減する場合は変更が必要となるのではないかと考えている。

■議員 これまで14回の事業計画の変更が行われている。変更が多いのも問題だと思いませんか。

■都市計画課長 13回目の変更で事業費を316億円に増額し、事業期間も令和13年3月までに変更した。この変更については説明会を開催した。14回目は国の補助金メニューの一部変更によるもので、説明会はしていないが公告縦覧などを行い周知を図っている。

■議員 6年度末に完成できない場合の問題点は何か。

■町長 地権者への換地返還業務などに遅れが生じる。

問 コミュニティの補助金返還 なぜ

答 予算執行がなければ返還は必要

■議員 地区コミュニティに対し、補助金の返還を求めたのはどのような理由か。

■町長 令和3年8月に地区コミュニティに対し補助金に係る方針を示しており、事業の実績、予算の執行がなければ返還を求めることは必要と考え返還を求めた。

■議員 地区コミュニティの活動を評価していないのか。残った補助金は、次年度の新たな事業に活用することができるのではないか。

■地域安全課長 活動には感謝している。しかし単年度補助の性質から、執行できなければ返還し、次年度の補助金で活動していただきたい。町全体として補助金の減額があつており、

監査委員からも指摘があつたので返還を求めた。

■議員 お金の面しか見えていない。お金に換算できない活動も評価して対応してもらいたいと思うがどうか。

■課長 コミュニティの活動は尊重している。

■議員 コミュニティ組織の活動への期待するものは何か。

■町長 地域の力を高めていく組織として期待したい。



活発な高田コミュニティ



新図書館のコンセプトなどは



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 誰からも愛される図書館を目指す

■ **議員** 新図書館のコンセプトは何か。また、どのような図書館を目指すのか。

■ **教育長** 町民が誇れる、誰からも愛される図書館を目指す。町全体の活性化、町民相互の交流・憩いの場、情報発信の拠点、定住人口の増加、町のシンボルとなる場所として子どもから高齢者や障がいのある人など、誰もが気軽に立ち寄れる、親しみやすい図書館を目指す。

■ **議員** 歴史資料館などの併設の考えはあるのか。

■ **教育長** 検討課題である。

■ **議員** 図書館の規模や予算はどうか。

■ **教育長** 建設費や維持管理費の削減、施設の相乗効果など総合的観点から健康センターとの複合化を念頭に整備検討を進めていく。

■ **議員** 駐車場の見込みと障がい者への配慮についてはどうか。

■ **生涯学習課長** 駐車場については、30台から50台を想定している。社会的弱者の視

点に立った整備は必要と考えている。

■ **議員** 補助金と基金の確保についてはどうか。

■ **教育長** 国の補助金は、現在活用できるものはない。教育振興基金の積み立てを行っている。

■ **財政課長** 教育振興基金の残高は約4億円である。

■ **議員** 電子図書館の進捗状況と課題はどうか。

■ **教育長** 10月末現在、登録者数1122人、貸出総数4902点で利用者から大変好評である。課題は、貸出状況の分析と、ターゲットを絞った上でのコンテンツの購入計画だと考えている。

■ **議員** 新図書館建設の6年間のスケジュールはどうか。

■ **教育長** 令和4年度は、基本構想と基本計画の改定、5年度は、施設の機能や規模について協議、6年度以降は、ボランティア団体との関わりや愛称決めなど、9年度の開館に向けて準備を進めていく。

く。

■ **議員** 設計はプロポーザル方式を検討していくのか。

■ **生涯学習課長** その予定である。

子どもの読書

■ **議員** 正規授業時間に図書の時間を導入してはどうか。

■ **教育長** すべての教科指導の中で取り組んでいく。学



子どもたちが新速読法をタブレットで楽しんでいます！
(写真は他地域)

校差はあるが、定期的に朝読書や読書週間の設定など読書習慣の向上に努めている。

■ **議員** 朝や中休み時間を利用した新速読法の導入の検討はどうか。

■ **教育長** 指導者の設定、確保など一斉に実施することは困難と考える。朝学習での視写活動や新聞閲覧など取組は異なるが、今後も全ての教育活動を通して児童生徒の健全な成長に努めていく。

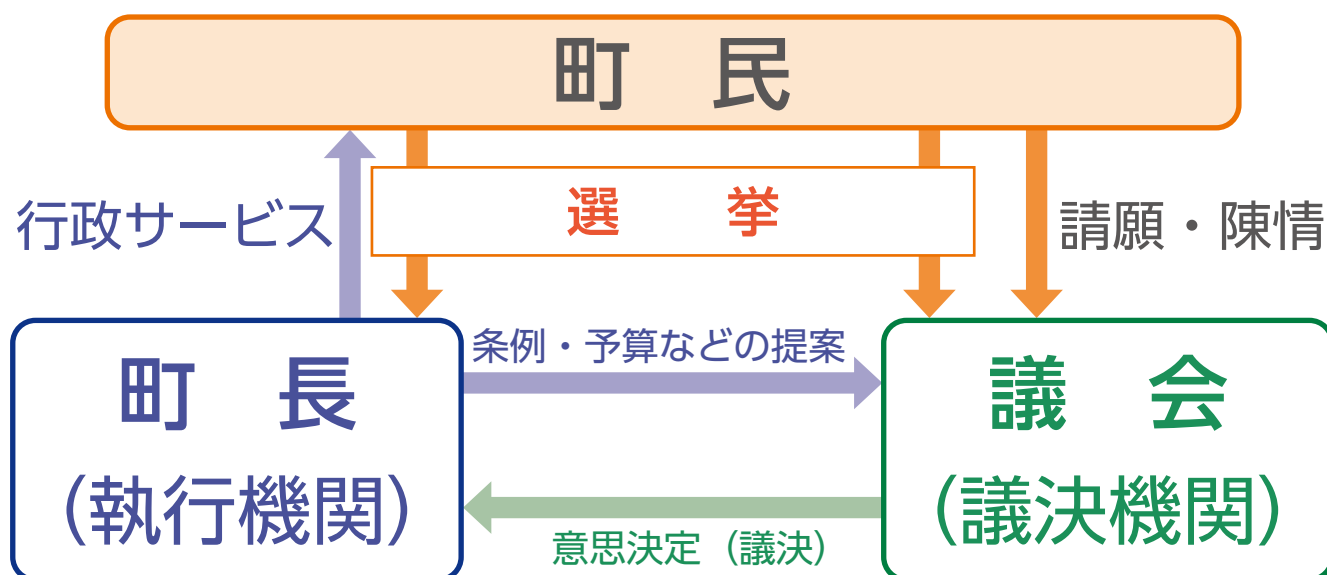
▶ 議会の仕組み

○ 議会は住民の代表者による話し合いの場

地域の問題はその地域に住む住民が話し合って方向性を決めていこうというのが地方自治の基本的な考え方です。ですが、町民全員が集まって話し合うことは不可能なため、町民が代表として選んだ議員が町の仕事について議論し決定するところ、それが町議会です。

○ 「議決機関」と「執行機関」が町政の両輪

議会は議決機関と呼ばれ、議案などの審議を通して住民の求める町政の基本的な方針を決め、町長をはじめとする執行機関は議会の決定に沿って仕事を進めます。また、執行機関が行った仕事が町民のためになったのかチェックするのも議会の重要な役割です。



町民が町議会議員・町長を選べる機会＝選挙は通常4年に一度しかありません。

投票には必ず行きましょう。

解説

● 議員

任期は4年間。長与町議会の定数は長与町議会議員定数条例で16人と定められています。

● 委員会

長与町議会では議案を専門的・効率的に審査するために総務厚生常任委員会と産業文教常任委員会の2つの委員会に分かれて審査を行います。その他、議会広報広聴常任委員会、議会運営委員会、特別委員会があります。

● 一般質問

各議員が町の一般事務に関して、その執行の状況や将来の方針などについて町長・執行機関に対して質問し報告・説明を求めるものです。

● 傍聴

長与町議会では、本会議・委員会は原則としてどなたでも傍聴できます。議会事務局（役場4階）で住所・氏名を記入の上、本会議場または委員会室にお入りください。

（※現在は感染症対策のため、傍聴の自粛をお願いしております。）

